

## 降雪・低温に備える営農技術対策 (湿った雪によるハウスの倒壊に注意！)

平成31年4月25日  
北海道農政部

札幌管区气象台によると4月26日(金)から27日(土)にかけて、低気圧や気圧の谷の影響で気温が低く平地でも積雪となることが予想されております。この時期の湿った雪は、厳冬期に比べて倍以上の重みになるので、こまめに雪を下ろしハウスの倒壊を防ぎましょう。

低温や降雪、強風など、随時発表される気象情報に十分注意し、次の事項の徹底に努めてください。

札幌管区气象台ホームページ <http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>

### 降 雪 低 温 時 の 注 意 項 目

- 1 最新の情報に注意して、早めの準備を行う。
- 2 ビニールハウスの緩み・たるみは雪が降る前に締める。
- 3 この時期の雪は、厳冬期に比べて倍以上の重さとなるので、こまめに雪を下ろし、ハウスの倒壊に注意する。
- 4 融雪水がほ場に停滞しないよう排水溝が十分に機能するように整備する。
- 5 夜間の保温に努め、計画的な生育を促す。

#### 第1 ビニールハウス等農業施設への降雪・低温への準備・対応

##### 1 降雪対策

- (1) ハウスの出入り口、天窓、側窓、換気扇及び側面のフィルム巻上げ部などの開口部が、きちんと締まるかチェックしておく。
- (2) ビニール等施設各部の損傷・ゆるみなどを点検し、応急補強用支柱・筋かいなどを、予め利用しやすい場所に整頓保管し、必要に応じそれらの資材で補強する。
- (3) ハウスの気密性を高め、加温施設がある場合は可能な範囲で室温を高め、天張面を温め落雪を促す。ただし、ハウス内に作物がある場合は、温度が上がりすぎないように注意する。
- (4) 湿った雪は、重みでビニールがたるみ、滑り落ちにくくなるので、速やかに雪降ろしを行う。

##### 2 低温対策

- (1) 水稻やてんさいの育苗や施設園芸では、作物の生育適温を下回る場合、肩換気の調節による保温に努め、夕方は早めに閉めて夜温の確保に努める。
- (2) 過度な保温や被覆は、軟弱徒長な生育となり品質低下を招くので、施設内の空気循環や天候に応じた日中の換気を行う。
- (3) 生育や土壌水分を考慮し、過湿にならないかん水管理を行う。